



「神の、目に見えない性質、
すなわち神の永遠の力と神性は、
世界が創造されたときから被造物を通して知られ、
はっきりと認められるので、
彼らに弁解の余地はありません。」 (聖書)

以下の話は、万有引力の法則の発見で有名な科学者、アイザック・ニュートンの逸話だと言われています。

ある時ニュートンは、腕のいい職人に太陽系の模型を作らせて、自分の部屋に置きました。その模型は、惑星が動く仕掛けをもった精巧なものでした。ある日、ニュートンの友人で無神論者の科学者がやって来ました。彼がその模型を操作すると、惑星が様々な速度で太陽の周りを秩序正しく回り出しました。彼が「この見事な模型はいったい誰が作ったのか」と尋ねると、ニュートンは「これは誰が作ったのでもない、いろいろな物が自然に集まって、たまたまこの形になったのだ」と答えました。すると友人は「ばかにしないでくれ。誰かが作ったに決まっているじゃないか。これを作った人はなかなかの天才だ、ぜひ教えてくれ」と言いました。ニュートンは椅子から立ちあがり、友人の肩に手を置いて、再び答えました。「これは、偉大な太陽系の粗末な模型でしかない。君はこんな模型でも、誰かが作らなければ存在しえないと言う。



それなのに、どうしてこれの元になった本物の太陽系には、設計者も製作者もいないと主張しているのか。」それ以来その科学者も神の存在を認めるようになったのだそうです。

この世界の全てを造られた神様は、私たち人間の造り主でもあられます。神様は私たちをご自分の愛の対象として造られ、その住みかとしてこの素晴らしい世界を備えてくださいました。親が子供に必要な物を与え養うように、私たちは神様の愛と恵みによって生かされています。



それにも関わらず、なんと多くの方がこのお方を無視し、そのご存在さえ否定して生きていることでしょうか。そればかりか、自分の欲望に合わせた偽物の神々を造り、拝むことさえしています。実際のところそれは、真の神様のご存在がわからないのではなくて拒んでいるのです。全てを支配しておられ、全てを見通される主権者なんて認めたくない、自分の人生を好きなように生きたい、これが神様を無視する人の心です。神様の恵みを受けながらそのような態度を取ることは、大変恐ろしい罪です。そればかりか人間は、その自分勝手な人生の中で、数えきれない罪を犯しているのです。

「彼らは、あらゆる不義、悪、貪欲、悪意に満ち、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪巧みにまみれています。また彼らは陰口を言い、人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です。」

(ローマ人への手紙 1 章 20 節)

私たちは、自分の願いを果たすためならば、悪事を企み、争い、欺きます。また、思い通りにならなければ、ねたみ、殺意をいだき、人を中傷します。



神様は、あなたの犯してきた罪を全て覚えておられ、激しく怒っておられます。

「神は、一人ひとり、その人の行いに応じて報いられます」 (ローマ人への手紙 2 章 6 節)

神様は聖く正しいお方ですから、あなたの罪も必ずさばかれます。もし、あなたがその罪を悔い改めることなく死を迎えるなら、死後永遠の地獄に投げ込まれ、その炎の中で全身を焼かれるという刑罰を受け続けなければいけません。

「彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける」

(ヨハネの黙示録 20 章 10 節)

このように、神様を無視して生きる人生の先には絶望しかありません。またどれだけ幸せを追い求めても、神様の愛から離れたその空しい心が満たされることは決してないのです。しかし神様は、あなたが空しく生き、地獄に行くことを決して願ってはおりません。ですから神様はあなたの罪を赦すために、救い主イエス・キリスト様を与えてくださいました。

今から約2000年前に神の御子であるイエス様が、人としてこの世に来られました。イエス様はその生涯の最後に十字架にかかれ、私たちの身代わりに神様からの罪のさばきを受け、命を捨ててくださったのです。そしてイエス様は死後3日目によみがえられ、多くの弟子たちが見ている前で天へと帰って行かれました。このお方こそ、今も生きておられ、あなたを救うことができる、まことの救い主です。



「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

(ヨハネの福音書 3 章 16 節)

神様は、誰でもイエス様を自分の救い主として信じる者の罪を赦し、受け入れてくださいます。そして私たちが本来の存在目的である神様との愛の交わりの内を生きるなら、本当の喜びがあります。ぜひあなたもご自身の罪を認め、悔い改めてください。そしてイエス・キリストによる救いを受け取り、死後地獄ではなく天国へ行き、神と共に永遠に生きる方とされますように。

